



イチゴ!いちご!苺! (泉区下飯田町)

- 視察研修
- 市長に意見書を提出
- 神奈川県農業委員会大会
- 農業委員会の活動紹介
- 農政活動協力金
- 委員紹介
- 横浜市からのお知らせ

## 視察研修を行いました

中央農業委員会では、昨年10月13日に視察研修を実施しました。農家以外の社会福祉法人が運営する農園と、女性農業者が主体的に農業を行っている収穫体験農園を視察し、多様な担い手による農地の保全について理解を深めました。(写真上)

また、南西部農業委員会では、昨年10月18日に農産物直売所みずほの村市場(茨城県つくば市)を視察し、地元農産物販売促進のノウハウや新規就農者等のサポート体制などを伺いました。(写真下)



## 林市長に「横浜市農業施策に関する意見書」を提出

横浜市農業委員会連合会の北村会長、角田副会長ほか4名の理事が、昨年10月30日に林文子横浜市長を訪問し、「平成30年度横浜市農業施策に関する意見書」を手渡しました。

北村会長は、緑地や農地は相続で無くなることが多く、耕作放棄された農地が資材置場や駐車場になるなど、貴重な財産が減ってきている現状について述べました。各理事からも、栽培収穫体験ファームの取組や学校給食への農産物提供の効果、若い就農者への支援の必要性などを市長に伝えました。

林市長は、日ごろの農業委員会活動に敬意を表し、「生産者の技術は素晴らしく芸術的にも見える。皆様の農業経営を支えられるよう取り組んでいきたい」と締めくくられました。

### ■主な意見・要望事項

- ・農業専用地区、農振農用区域内の道路整備、土砂流出対策の推進
- ・市民農園の周知及び開設の促進
- ・若い新規就農者の生活基盤を支える積極的な支援の実施
- ・農家や住民の意向にこたえた地産地消施策の一層の推進 など



## 神奈川県農業委員会大会が開催されました

「かながわらしい都市農業の持続的発展を図ろう」ほか、8つのスローガンを掲げた平成29年度神奈川県農業委員会大会が、昨年11月9日に海老名市文化会館で開催され、県内農業委員と農地利用最適化推進委員の562名が出席しました。

大会では出席者からの活発な質問や意見が交わされ、「本県農業の振興に関わる課題と新たな農業委員会制度の着実な推進に関する要望」など4つの議案について、決議されました。

また、長年にわたり地域の農業振興に貢献した永年在任農業委員等の方々への表彰式が行われ、横浜市の農業委員会からは12年以上在任の7名の方が表彰されました。



## 農業委員会の活動をPRしました

中央農業委員会、南西部農業委員会は、昨年11月に行われた横浜農協きた地区JAまつりとJA横浜中田支店農業まつりに参加し、農業委員会の日ごろの活動や役割、業務についてのPRを行いました。

両農業委員会及び連合会事務局はチラシの配布やパネルの展示を行うとともに、子どもたちが楽しみながら横浜産の野菜や花きに親しめるように、塗り絵を用いた参加型のPR活動も行いました。



## 神奈川県農業会議の農政活動協力金について

神奈川県農業会議の農政活動協力金につきましては、平成29年度も多くの皆様に御協力いただき、誠にありがとうございました。

この農政活動協力金は、神奈川県農業会議の農政対策活動に充てられるとともに、横浜市農業委員会の事業にも活用させていただいており、農政に関する制度や施策等の情報を皆様にお伝える「よこはま農委だより」も農政活動協力金により作成しています。

中央農業委員会管内 1,653,400円

南西部農業委員会管内 1,117,800円

# 委員紹介

このコーナーでは  
全委員を順に  
ご紹介していきます。

凡 例	委員会名 氏名
	【農】農業委員
	【推】農地利用最適化推進委員
	①主な営農地域 ②主な作物 ③ひとこと

## 中央 守谷 弘【農】 会長職務代理者

- ①保土ヶ谷区上菅田町
- ②露地野菜
- ③世の中が急速に変化する中で、都市農業にとって、農地の果たす役割は大きいと思います。地域農業者の方々の声を聴きながら、緑環境の保全と活用が共存発展できるよう、前向きに取り組んでいきたいと思っています。



## 中央 三村 孝治【農】

- ①保土ヶ谷区川島町など
- ②露地野菜
- ③露地野菜主体ですが、施設トマトも作っています。家族で栽培し、主にJAメルカートやハマっ子に出荷しています。若い世代が安心して農業が出来るような環境づくりを目指して頑張りたいと思います。



## 中央 小池 誠一郎【農】※

- ①利害関係を有しないもの
- ②ー（農業以外）
- ③今回初めて、農業従事者以外の枠で農業委員に就任しました。職業は税理士ですが、私の主たるお客様は農業に精励されている方が多いため、農業に大変関心があります。税制の面から、農業の今後の在り方に関わっていききたいと思っています。



## 中央 加藤 保【推】

- ①港北区新吉田東
- ②花き（シクラメン、スモークツリー、花苗等）
- ③私の代からシクラメンを中心とした花き栽培を始め、38年となります。横浜北部は花きで有名な地域でもあり、私も施設380坪の中でシクラメン約40種、9000鉢を栽培しています。都市農業の担い手の育成に努めていききたいと思っています。



## 中央 金子 詔司【推】

- ①神奈川区（羽沢・菅田地域）
- ②キャベツ、ほうれん草、ブロッコリー等
- ③地元で代々農家をしています。就農して40年以上経ち、現在は息子と二人三脚で直売等も行っています。農地の活用や次世代に繋がる農業経営を考えながら、委員として地域の皆様のお役に立てるよう努めてまいります。



## 中央 河田 良次【推】

- ①港北区樽町、師岡町など
- ②露地野菜
- ③我が家は代々農家で、露地野菜を栽培しています。今回の改選で農地利用最適化推進委員として、遊休農地対策などに取り組んでまいります。地域の農家の声を聴きながら一生懸命頑張りますので、皆様のご協力をお願いいたします。



## 南西部 清水 明雄【農】 会長職務代理者

- ①泉区和泉町
- ②露地野菜・果樹
- ③露地野菜を中心に栽培し、地域の人に新鮮な野菜を直売にて提供しています。都市農業を守るため、農家の声を聴きながら、将来も安心して農業ができるようお手伝いが出来ればと考えています。ご協力をお願いいたします。



## 南西部 奥村 玄【農】※

- ①利害関係を有しないもの
- ②ー（農業以外）
- ③今回初めて農業委員になりました。コンサルタントとして「恵みの里」や「はまふうどコンシェルジュ講座」に関わってきました。魅力的な横浜の都市農業を次の世代に伝えるために、諸先輩の皆様の指導を仰ぎながら頑張ります。



## 南西部 近藤 節夫【推】

- ①泉区和泉中央南
- ②露地野菜・果樹（カキ）
- ③Uターン農業者です。前期の農業委員に続き、農地利用最適化推進委員になりました。遊休農地が増えないよう、所有者の意向を聴き、耕作希望者や関係機関との調整を図っていききたいと思っています。農地は農業をする方に相続してほしいです!!



※の付いている2人は、昨年8月の改選から新しく任命された農業委員で、農業委員会等に関する法律第8条第6項における「農業委員会の所掌に属する事項に関し利害関係を有しないもの」です。

農業従事者ではなく、公平・公正な立場から農業委員として活動しています。

中央農業委員会・南西部農業委員会各1人が任命されました。

## りんもん ウメ輪紋ウイルスの症状にご注意ください！

ウメ輪紋ウイルスは主にウメやモモなどに感染する植物ウイルスで、横浜市内では港北区及び鶴見区の一部のウメ等で感染が確認されています。

下の写真のような症状がありましたら、下記までご連絡ください。

### ■症状と被害

ウメ輪紋ウイルスに感染すると下の写真のような症状が現れます。

- ・ウメでは葉に退緑斑紋(たいりょくはんもん)や輪紋(りんもん)が生じます。
  - ・海外ではモモやスモモの果実の商品価値が失われたり、減収の報告があります。
- ※うどんこ病や白粉(はくふん)病など、症状が似ている病害もあり、見た目での区別がつかないことがあります。

### ■感染経路

- ・アブラムシにより媒介されるほか、感染した植物の枝を接木すること等で感染します。

### ■宿主植物

- ・サクラ節(ソメイヨシノ等の観賞用のサクラ)を除く *Prunus* 属の植物  
(ウメ、モモ、スモモ、ネクタリン、アンズ、サクランボ、ユスラウメなど)
- ・セイヨウマユミ、ナガバクコ、ヨウシュイボタ



《農林水産省横浜植物防疫所原図》

問合せ	農林水産省横浜植物防疫所業務部 国内検疫担当 神奈川県農業技術センター病害虫防除部	☎045-285-7135 ☎0463-58-0333 (内線391)
-----	--	--

## 農ある横浜・あぐりツアー「横浜農業探検隊」を実施しています！

横浜市では、市民が農とふれあえる機会を提供するための事業として、横浜みどりアップ計画に基づき、平成26年度から農ある横浜・あぐりツアー「横浜農業探検隊」を実施しています。今年度は既に旭区の畑、舞岡ふるさと村(戸塚区)、西谷農業専用地区(保土ケ谷区)、柴漁港・柴農業専用地区(金沢区)で計4回開催しており、市内農業の現場巡りと生産者のお話、収穫体験や直売所訪問など、農にふれる体験が大変好評を得ています。

参加者からは、「自分で野菜を収穫できて楽しかった」、「地元の農産物を積極的に購入したい」、「横浜市内にこんなにたくさん農地があることに驚いた」、「また参加したい」との声がありました。

今後も企画を充実させ、引き続き市民の皆様に横浜農業への理解を深めていただけるよう取組を進めていきます。



トウモロコシ収穫体験(旭区)

問合せ	環境創造局農政推進課	☎045-671-2635	FAX 045-664-4425
-----	------------	---------------	------------------

【お詫びと訂正】2017年7月1日発行第31号の1頁「平成28年度事務処理状況」の南西部農業委員会の数値に誤りがありました。お詫びを申し上げますとともに次のとおり訂正いたします。

「市街化区域の転用4・5条届出」……………【誤】525件209,609㎡→【正】446件216,449㎡

「相続税納税猶予利用状況確認(20年明け)」…【誤】11件57,306㎡→【正】13件87,190㎡